

MBT NEWS LETTER

第296号
'24/08/19

奈良医大研究テーマ

『備蓄・緊急投与が可能な人工赤血球製剤の実用化を目指す研究』 その後の展開を紹介します！

- ・ MBTニュースレター第249号でも、その活動を紹介し（下記の抜粋記事参照）、着目してきた表題の奈良医大研究テーマ、その後の展開を紹介します。

2024年7月1日 奈良医大で記者会見 “備蓄・緊急投与が可能な人工赤血球製剤の製造および、第一相臨床試験を奈良県立医科大学附属病院で実施”
<https://00m.in/gYxgq>



2024年8月1日 “国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営するサイエンスポータルに、人工赤血球製剤治験の記事が掲載”
https://scienceportal.jst.go.jp/gateway/clip/20240801_g01/



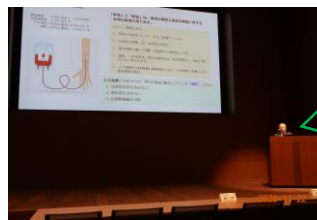
「MBTニュースレター第249号」（2023/11/27）の紹介記事から抜粋

- ・ 第3回Challenge万博は、関西イノベーションイニシアティブが主催し、2025年大阪・関西万博を機に関西の盛り上げを図る目的で、登録参加の関西25大学の優れたシーズやスタートアップを首都圏の大学、企業関係者に紹介するイベントで、11月21～22日の2日間、共催の三井住友銀行東館（東京都千代田区大手町）で開催されました。
- ・ 奈良医大とMBTコンソーシアムは連携して、下記テーマで参加しました。



酒井宏水教授（奈良医大医学部化学教室）講演 「備蓄・緊急投与が可能な人工赤血球製剤の実用化を目指す研究」

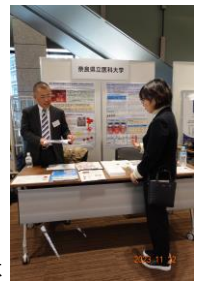
- ・ 人工赤血球は血液型が無く、感染の心配がなく、また長期備蓄ができ、赤血球輸血を補完する役割が期待される。
- ・ 2015年よりAMEDの支援を継続して受け健常男性を対象としたFirst-in-human試験を完了し、次相に向け準備を進めている。また、本製剤の様々な応用が期待されている。



↑講演する酒井宏水教授



→ポスター展示



発行

（一般社団法人）MBTコンソーシアム、（公立大学法人）奈良県立医科大学
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内 担当 塩山

TEL : 0744-29-8853（直通）、FAX : 050-3164-5598、Email: mbt@mbt.or.jp